

THE 座談会

～若い世代と地域とのつながりを探る～

“普段若い世代の人たちって地域のこと、どう思ってるの?”

そんな素朴な疑問、大人たちで考えだして始まらない!
というわけで・・・

社協とつながりのある若い世代のみなさんに集まっていた頂き、
ほのぼのせや編集委員との座談会を開きました。

参加してくれたみなさん



大学生
ハルカさん
区社協事業
"みんなのつばさ"
ボランティア

*みんなのつばさは、障害のある小中学生と、お兄さんお姉さん的な若いボランティアさんたちが、一緒に外出する活動で、月に1回実施しています。



高校生
カオルさん
ボランティアセンター
登録者



中学生
ミナミさん
ボランティアセンター
登録者

福祉活動に興味・関心のある3人に、

自分の世代を代表して率直なお話を聞かせてもらいました。

Q みなさんがボランティア活動しようと思ったきっかけや感想は?

ハルカさん 友達が"みんなのつばさ"にボランティアで参加していて、一緒に行こうと声をかけられて、参加したのがきっかけです。楽しいから1年生の時からずっと続けています。最初は人助けとか、誰かのためになって思っていたけど、子どものことをわかりたい、自分のことをわかってほしいという気持ちが自然とわいて、楽しく活動しています。私がこんな活動をしていたら、母も影響されて学校に関わるボランティアを始めたんですよ。

カオルさん 将来看護師になることが夢なので、いろいろと人と関わる経験がしたいと思って、始めました。最初は社協のボランティア体験講座がきっかけで、その後もやってみたくてボランティアセンターに登録しました。**人間が好き**。人との関わりがいろいろな面で自分にとってプラスになると感じています。

ミナミさん 福祉の活動には以前から興味があって区社協のボランティア体験講座の案内を見て、友達と参加しました。とても楽しかったので、学校が始まってからも時間のあるときは、施設に活動に行っています。話したり聞いたりすることが好きなので、遊びというわけではないのですが、気軽に行っています。

Q 地域や近所との接点を感じるのはどんな時?

- 第一に“あいさつ”だと思います。あいさつをして返事がないとさみしいです。
- お祭りが年に1回あって、普段会わない近所の人と顔を会わせることはあります。もっと小さいときは子供会を通して自治会の行事に出たのですが、今はそういうこともなくなってしまいました。
- 高校やその先に進むにつれて、行動範囲が広がって地域と疎遠になってくると感じます。そういう意味でお祭りって私たちの世代でも参加する唯一の地域の行事かもしれないです。
- 何かを一緒にすること、同じことを体験することで、すごく親しみがわくと思うので、地域の中で集まる機会って大切だと思います。

Q 自分たちの世代と地域の大人の人との関わりってどうやって作っていきけるかな?

- “最近の若い人たちは・・・”と悪い面だけが印象に残って、ひとくくりにされてしまう。自分たちにも大人は教えてくれないという思いもあります。今日の座談会のように会話を交わすことで、私たちの世代にもいろいろな人がいるということを知ってもらい、大人の人たちからもいろいろ教えてもらって、分かりあえる機会があるといいんじゃないかな。
- 年代をこえていろいろな世代の人たちが**交流**できる“場”が必要だと感じます。
- “お祭り”も、交流の“場”として一緒に参加したり、食べたりする経験をする事で、他の世代の人とふれあう機会になると思います。
- 話し合う、伝え合うってことがすごく大事と改めて感じました。



座談会の様子



“交流の場”

“地域の祭り”

“あいさつ”

“人間が好き”

座談会を終えて... 編集委員の感想☆提案

「人が好き」という言葉に正直ほっとしました。ボランティアに限らず、活動を通じて知り合った人とのつながりを大切に思う気持ちはどの年代も共通なので、やってみたいことを形にする知恵と力を出し合える受け皿が地域で用意できるといいのにと感じました。
(小林委員)

若い人たちの力を地域にどう巻き込むか、自分たち大人側の意見を押し付けるのではなく、受け止める地域や大人の側の発想も転換しなければとハッとさせられました。特に子どもの“しゃべり場”が地域に必要と感じました。(西村委員)

これから気持ちのある子をどのように地域の中で輪を広げ、伝えるかを考えさせられました。
(杉崎委員)

今日のみなさんの話を聞いて若者がもっと地域に出てこれるようなしなげが大事だと感じました。お客さんとして参加するだけでなく、企画から一緒に行事を作っていくなど若い人の意見や提案を聞く場をもたねばと思います。(遠山委員)

体験講座をはじめとするいろいろな社協事業が、若い世代の人にとって福祉やボランティアのことを考えるきっかけになっているということは、とてもうれしい成果です。“若い子カラを地域にいかす”というテーマで企画したこの座談会。ほんの一部の意見かも知れませんが、思いのある子は地域にたくさんいる! その芽を育てるのは、受けとめる地域の側。“若い子カラを地域で吸収する”大事さを改めて感じました。是非若い世代の人が地域に関心を持ち、その子カラを取り入れるきっかけを地域のあらゆる場面で作っていきませんか!!若い子カラを引きだし、そして地域もそれを必要とする、そのコーディネートが社協の役割です。みなさん一緒に考えていきましょう。

区社協からのお知らせ

【手話入門講座】

日時：9月2日、9日、16日(土)
午後1時30分～午後3時30分
場所：中屋敷地域ケアプラザ
(中屋敷2-18-6)
対象：初めて手話を学びたい方20人
参加費：1200円
申し込み・受付：中屋敷地域ケアプラザ
(303-8100)まで電話にて
*広報瀬谷区版8月号もご覧下さい。

【男性のためのボランティア講座】

日時：10月8日、14日(または15日)、
22日、29日(*実習あり)
午前9時30分～(10時～の場合あり)
場所：二ツ橋地域ケアプラザ(二ツ橋町83-4)
対象：区内在住おおむね50歳以上の男性 15人
申し込み・受付：二ツ橋地域ケアプラザ
(361-9807)まで電話にて
*広報瀬谷区版9月号もご覧下さい。

【第27回瀬谷区社会福祉大会/地域福祉保健計画推進シンポジウム】

日時：10月14日(土)午後1時30分～午後4時30分
場所：瀬谷公会堂
内容：式典 社会福祉に顕著な功績のあった方々の表彰式
シンポジウム 瀬谷区地域福祉保健計画推進について
その他福祉団体等のパネル展示も行います。
☆ふるってご参加下さい!

【敬老お笑い寄席】

日時：10月23日(月)
午後1時30分～午後4時
場所：瀬谷公会堂
内容：落語、漫談等、毎年好評をいただいているお笑い寄席です。
☆ふるってご参加下さい!

【子育てサポートシステム説明会】

横浜子育てサポートシステム事業は、地域の中で子どもを預けたり、預かたりすることで市民同士の連携をはかり、地域ぐるみでの子育てをめざしています。「子どもを預かってほしい人(利用会員)」・「子どもを預かれる人(提供会員)」が会員として登録し、会員相互の責任と信頼のもとに子育て援助を行います。区社協では毎月説明会を開催しておりますので、ご希望の方はご連絡下さい。
日時：8月31日(木)、9月22日(金)、
10月17日(火)
午前10時30分から1時間程度
場所：パートナーせや(区社協)

【福祉保健活動拠点(パートナーせや)の管理体制について】

福祉保健活動拠点(パートナーせや)は、福祉保健団体の活動する拠点として、年末年始(12/29～1/3)を除く全日、午前9時から午後9時までご利用いただけます。(2ヶ月に1回の点検日は閉館します)平成18年4月からは夜間・日曜祝日にも、職員が配置されました。ご利用にあたっては、登録が必要です。どうぞお気軽にご相談下さい。

お問い合わせ先

瀬谷区社会福祉協議会 Tel 361-2117 / Fax 361-2328

平成18年度賛助会員の募集

賛助会員とは社会福祉協議会(社協)が進める活動に対しご賛同いただき、財政面で支えていただける個人及び法人の事です。いただいた賛助会費は、瀬谷区社協事業及び各地区社協に配分し、地域福祉を進めていく上で、非常に貴重な財源となっています。瀬谷区社協窓口にて随時受付中です。どうぞよろしくお願い致します。

個人一口1,000円/法人一口5,000円